

3 農地集積のための再整備

ほ場整備済み農地の二次整備

ほ場整備をした水田においては、排水改良のための暗渠排水が施工されているところもありますが、その度合いが十分でないことや経年変化により機能が低下しているところも見られるなど、集落法人等の経営体がキャベツをはじめとする園芸作物を栽培する上で営農に支障をきたしています。

このため暗渠を更新したり、栽培に適した地下水位への調整が可能となる機能を付加するなど、地域のニーズに合わせた生産基盤整備（再整備）の必要性があるといえます。

- ◆ほ場整備して30年、道路・水路も痛んだ。
- ◆20aでは作業効率が悪い。
- ◆排水が悪く、野菜が出来ない。



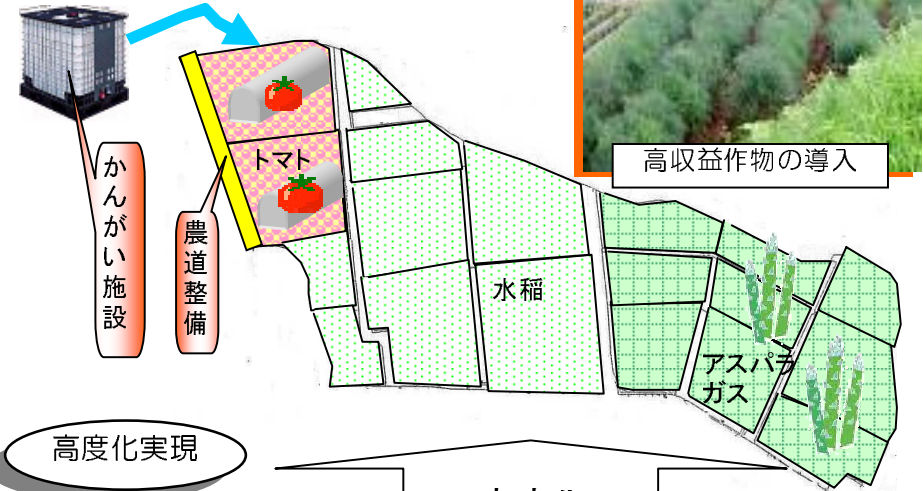
湿害による生育不良状況

整備前

効率化

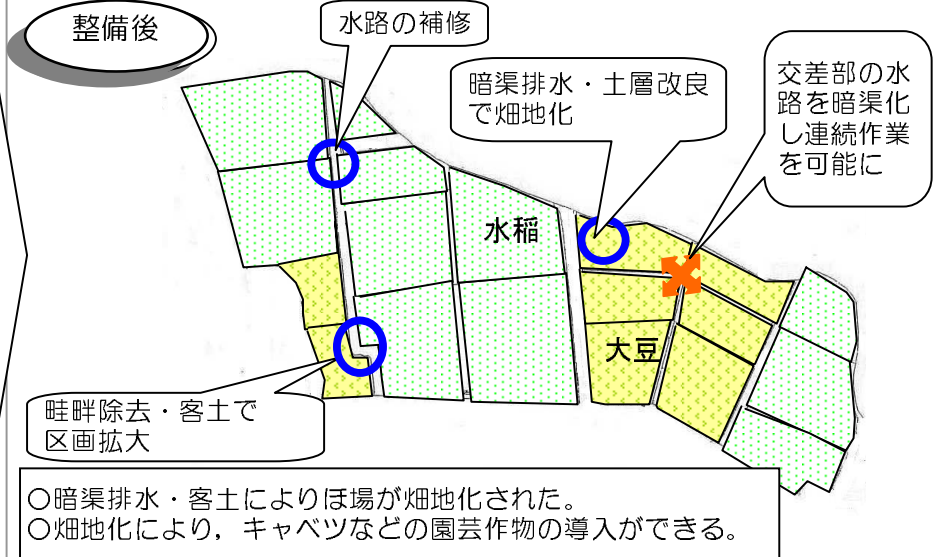
集落法人の目指す「発展的法人経営」の実現

○経営の高度化を目指し、アスパラガスなどの園芸作物の導入を実現。



高度化実現

高度化



○暗渠排水・客土によりほ場が畑地化された。
○畑地化により、キャベツなどの園芸作物の導入ができる。